

2024年9月3日

## 第16回 国際物流総合展(Logis-Tech Tokyo 2024)に出展

エナジーウィズ株式会社(本社:東京都千代田区 代表取締役社長:吉田誠人)は、9月10日(火)~13日(金)に東京ビッグサイト(東京都江東区)で開催される「第16回 国際物流総合展(Logis-Tech Tokyo 2024)」に出展し、電動フォークリフト用電池状態監視サービス「withBMS™(ウィズビーエムエス)」を展示します。

昨年9月に約3年間の実証試験を経て、蓄電池メーカーとして長年にわたり蓄積してきた技術ノウハウを基盤とした独自の電動フォークリフト用電池状態監視サービスウィズビーエムエスを開発し、サービスを開始しました。

サービス開始以来、物流倉庫やメーカーの物流部門などに採用され、「バッテリートラブルによる業務遅滞を防止することができた」、「バッテリーの長期使用および交換タイミングの最適化を図ることができた」、「バッテリー交換費用等のコストを削減できた」、「電動フォークリフトの台数・配置の見直しができる」などの声を頂いております。

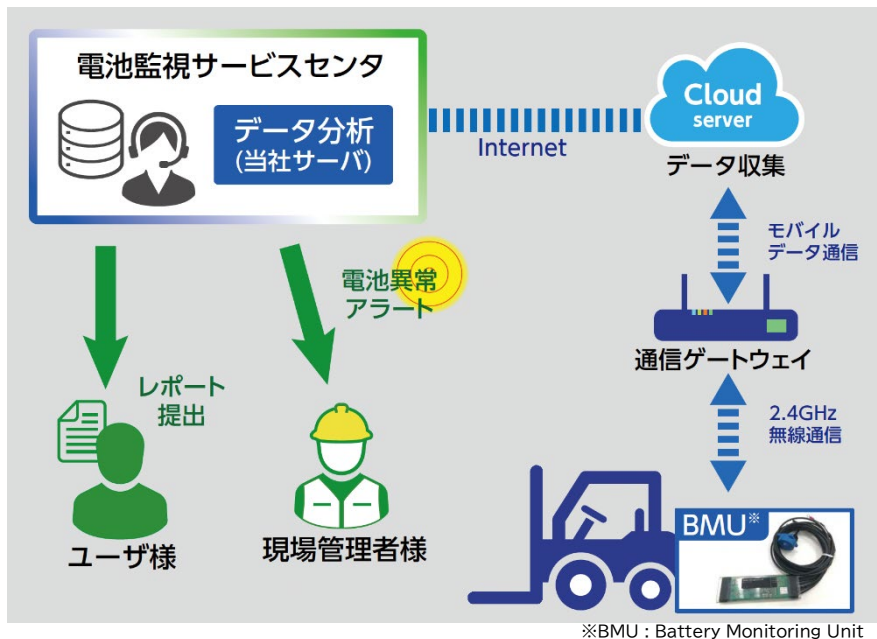
電動フォークリフトのバッテリーの充電やバッテリー液の補水など、これまでの運用は現場担当者の経験や勘に頼らざるをえない状況でしたが、ウィズビーエムエスを導入することで、適正な電池の運用管理状況をデータで見える化。定期レポートによるユーザーへの注意喚起や改善提案を行い、バッテリー本来の寿命まで有効に使い切ることをサポートします。

エナジーウィズは、電池状態の診断とその適切な運用アドバイスで電池パフォーマンスを最大化し、効果的なフォークリフトの運用を支援します。



ブース出展場所:東1ホール  
ブース番号 1-302

## 電動フォークリフト用電池状態監視サービスイメージ図



電動フォークリフトのバッテリーのデータ(電圧・電流・温度・液面レベル)をモバイルデータ通信でクラウドサーバーに自動収集し、当社の電池監視サービスセンターで分析してユーザーと共有。バッテリーの温度異常や補水不足などを検知すれば即時に通知し、現場対応を促します。

以上

エナジーウィズ株式会社は2021年12月、昭和電工マテリアルズ株式会社(現株式会社レゾナック)の蓄電デバイス・システム事業部門を前身に蓄電池専門メーカーとして事業を開始しました。

当社はこれまで100年以上にわたり鉛蓄電池技術を用いて自動車用バッテリー、産業用鉛蓄電池を製造・販売。また鉛蓄電池に限らず、蓄電池の状態を検知する監視装置、緊急時に蓄電池から電力を供給する電源システムなどもラインナップとして事業を展開。今後は蓄電池専門メーカーから「提案型蓄電ソリューション企業」への進化を目指しています。

<https://www.energy-with.com/>

リリースに関するお問合せ

**エナジーウィズ株式会社**

〒101-0022 東京都千代田区神田練堀町3 AKS ビル [pr@energy-with.com](mailto:pr@energy-with.com)